

甲佐町議会だより



清流

第183号

令和4年(2022)11月15日発行

発行 甲佐町議会

発行責任者 議長 宮川 安明

9月定例会



はいね
はいね みんなの思い
甲佐小学校

令和3年度各会計決算の認定他	②～④
そこが知りたいQ&A	⑤
一般質問(4人)ここが聞きたい	⑥～⑨
子ども議会	⑩～⑬
町民の声	⑭

令和4年第3回(9月)定例会

令和4年第3回定例会は、9月10日に開会し、14日まで5日間の審議を行った。

議案審議においては、令和3年度各会計決算の認定、専決処分の承認案件、条例案件、財産の取得案件、令和4年度各会計補正予算など町長提出の16案件、委員会に付託し閉会中の継続審査としていた権利の放棄案件及び陳情案件、議員発議の条例案件について慎重に審議し、すべて原案のとおり認定・承認・可決した。

一般質問には4議員が教育振興、地域振興、環境対策、福祉対策等について活発な議論を展開した。

審議結果

区分	議案名	審議結果
認定第1号	令和3年度甲佐町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定(反対2)
認定第2号	令和3年度甲佐町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(反対2)
認定第3号	令和3年度甲佐町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(反対2)
認定第4号	令和3年度甲佐町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(反対2)
認定第5号	令和3年度甲佐町水道事業会計決算の認定について	認定
承認第8号	専決処分の報告及び承認について(専第9号 令和4年度甲佐町一般会計補正予算(第2号))	承認
承認第9号	専決処分の報告及び承認について(専第10号 令和4年度甲佐町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号))	承認
報告第6号	財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	報告
議案第44号	甲佐町防犯カメラの適正な設置及び運用に関する条例の制定について	可決
議案第45号	甲佐町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第46号	甲佐町議会議員及び甲佐町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第47号	財産の取得について(小型ポンプ付積載車 2台)	可決
議案第48号	令和4年度甲佐町一般会計補正予算(第3号)	可決
議案第49号	令和4年度甲佐町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第50号	令和4年度甲佐町介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第51号	令和4年度甲佐町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第52号	令和4年度甲佐町水道事業会計補正予算(第1号)	可決
議案第39号	権利の放棄について(委員会審査報告)	可決(反対3)
陳情第5号	多面的機能支払事業交付金返還に関する陳情について(委員会審査報告)	採択
発議第2号	甲佐町議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について	可決(反対2)
発議第3号	甲佐町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可決

令和3年度各会計決算額

会計の名称	歳入	歳出	差引額
一般会計	96億3,049万円	89億24万円	7億3,025万円
国民健康保険	15億9,103万円	15億2,165万円	6,938万円
介護保険	16億1,410万円	15億5,760万円	5,650万円
後期高齢者医療	1億6,174万円	1億6,078万円	96万円
合計	129億9,736万円	121億4,027万円	8億5,709万円

端数処理等により差引及び合計額が合わない場合がある。

水道事業会計決算額

収益的収入	1億6,630万円	収益的支出	1億5,800万円
資本的収入	6,720万円	資本的支出	9,130万円

専決処分

令和4年度一般会計補正予算(第2号)

3046万6千円を増額し、総額71億8858万7千円としたもの。

今回の補正は、子育て世帯生活支援特別給付金事業及び住民税非課税世帯等特別給付金事業による補正。

令和4年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

38万8千円を増額し、総額1億7945万1千円としたもの。前年度分保険料の還付が発生したことによる補正。

条例関係

甲佐町防犯カメラの適正な設置及び運用に関する条例

公共の場所における防犯カメラの適正な設置及び運用に関して定める条例。

甲佐町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

非常勤職員の育児休業等に関する一部を改正する条例。

甲佐町議会議員及び甲佐町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例

甲佐町議会議員及び甲佐町長の選挙時における選挙運動の公費負担について、物価及び燃料費高騰に伴い単価を引き上げる条例。

財産の取得

甲佐町消防団第3分団第1部(早川地区)及び役場分団の小型ポンプ付き積載車の更新による財産の取得。

補正予算

令和4年度甲佐町一般会計補正予算(第3号)

7億5713万1千円を増額し、総額79億4571万8千円としたもの。

主な補正は、ふるさと甲佐応援寄付金5億2000万円及び令和3年度決算による繰越金1億1583万4千円などの補正。

令和4年度甲佐町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

2164万2千円を増額し、総額15億1919万8千円としたもの。

主な補正は、令和3年度決算による補正。

令和4年度甲佐町介護保険特別会計補正予算(第1号)

6067万5千円を増額し、総額16億3887万5千円としたもの。主な補正は、令和3年度決算による補正。

令和4年度甲佐町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

107万3千円を増額し、総額1億8052万4千円としたもの。

主な補正は、令和3年度決算による補正。

令和4年度甲佐町水道事業会計補正予算(第1号)

水源地施設周辺整備事業500万円の増額補正。

その他

権利の放棄について（委員会審査報告）

上豊内資源保全会の多面的機能支払事業補助金返還金488万2755円のうち275万6072円及びこれに対する遅延損害金を放棄するもの。

令和4年第2回定例会において、権利の放棄に関する審査特別委員会での閉会中の継続審査とされていた執行部提出の議案第39号権利の放棄について、特別委員会で審査が終了し、委員会審査報告書が提出され、令和4年第3回定例会で原案のとおり可決した。

陳情

多面的機能支払事業補助金返還に関する陳情について（委員会審査報告）

令和4年第2回定例会において、権利の放棄に関する審査特別委員会での閉会中の継続審査とされていた上豊内資源保全会からの陳情第5号多面的機能支払事業補助金返還に関する陳情について、特別委員会で審査が終了し、委員会審査報告書が提出され、令和4年第3回定例会で採択とした。

多面的機能支払事業補助金返還金に係る権利の放棄についての討論

反対意見

佐野議員

権利を放棄することは、町に対して275万6072円プラス遅延延滞金の損失を与えることになる。あまりにも早すぎる決定であるし、この事業に携わる皆さんや町民の皆さんの理解と納得を得ることは難しいと考える。

井芹議員

実際行われた工事を差し引いた額を返還していただくことが町民に対しても納得のいく方法だと考える。残り全額の債権放棄については反対せざるを得ない。

福田議員

町民の中には反対される意見もあり、まだまだ議論するべきであると考え反対する。

賛成意見

田中議員

今後の上豊内地区の再建に向けた新たな一歩になることと思い賛成する。

宮本議員

事業的には実施されている。地域振興のために早めに再スタートしていただき、皆が協力して資源保全会を守っていただきたいという思いも込めて賛成する。

甲斐 高士 議員

水路の補修を想定した場合、上豊内のみならず下流域にも影響を及ぼすものである。債権を放棄し早期に事業を再開することが町全体としても公益性が高いと考え賛成する。

発議

甲佐町議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定

議員定数12人を1人削減し11人にしたもの。次の一般選挙から適用。

甲佐町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定

甲佐町議会議員定数条例の一部改正に伴う改正。産業厚生常任委員会の委員定数を6人から5人に改正したものの。

甲佐町議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定についての討論

反対意見

井芹議員

住民の利益を守るべき議員の果たす役割は大きい。定数削減はこの重要な役割を縮めるものであり、住民の利益に反するとともに、議会活性化にも反するものだと考え反対する。

賛成意見

鳴瀬議員

本町の人口減少や将来にわたっての財政面での町負担の軽減など、議会が率先して改革を行うことで、町民の皆様の負担を少しでも軽減できるものであると確信し賛成する。

※今回の甲佐町議会議員定数条例の一部改正に伴い、議員定数については、令和5年に告示される一般選挙から適用され、議員定数が12人から11人となります。

そこが知りたいQ&A

9月定例会
質疑から

宮内地区

山椒生産組合業務委託事業

Q 宮内地区山椒生産組合業務委託事業の内容についてお尋ねしたい。宮内地区のサンショウについては、現在収穫も少しずつ出来てきており、宮内地区では新たな加工品の開発についても取り組まれている。そのような中、本事業については、当初宮内地区のみならず町内の中山間地域に広げていくという構想であったと記憶している。今後の事業展開についてお尋ねしたい。



A 宮内地区山椒生産組合業務委託事業については、本格的に収穫が出来る前の段階でサンショウを使った加工品について開発を行っていきたいということ、宮内地区山椒生産組合に委託し加工品の開発を行っているところである。令和3年度の実績として、アウトドア用の山椒塩が一品、3品目のレシピ開発を2業者で行っている。

また、今後の中山間地域等に広げる展開については、昨年説明会を開催しており、その後コロナの状況が厳しくなり、現在のところ2回目の説明会はまだ行っていない。今後コロナの状況を勘案しながら2回目の説明会を開催し、参加の意向調査等についても速やかに行っていきたいと考えている。

津志田河川自然公園の 水難事故対策

Q 津志田河川自然公園で先日水難事故が発生したが、事故防止対策についてどのような取り組みを行っているのか。

A 津志田河川自然公園の事故防止対策については、看板等を設置し安全な利用を促している。国土交通省とも連携を図りながら看板の追加設置等もしている。

また、水難救命具格納庫も設置してあるが、設置時からすれば川の流れも変わっており、現況に合わせて設置場所を変更することも国土交通省と検討を進めているところである。

町おこし基金、ふるさと納税基金の 運用の方向性

Q 町おこし基金が約3億円、ふるさと納税基金が約5億円あるが、どのよ

うな運用を考えているのか。

A 政策的に町づくりを進めていく上では財源が必要となる。時代によって町が目指す方向も変化するが、現在の本町の課題として工業団地等の開発が出来ないという側面がある。TSMCの進出の話もあり、この機会に何とか企業を誘致しようという考えをどこの市町村も持っておられると思う。本町もその流れに乗り遅れないようにしなければならぬ。そのような状況も考慮したうえで、町おこし基金として毎年5000万積む予算をお示ししているところである。まだまだ現在のところ3億円の基金であり、今後基金の積み増しを行いながら諸問題に対応していきたいと考えている。

ふるさと納税基金については、10年後の過疎地域の指定から外れた場合を想定し、その充当財源としてこのふるさと納税基金を活用できればと考えている。政策を推進しながら、一方では財源的な基金を貯めて財政の安定化も図る、この両面をうまく並行してやっていくことが今求められていることだと考える。

今後の対策案としては、湯田川上流に遊水池を設置することや、大町の樋門に排水機場を設置することなどを考えている。

一般質問

特別障害者手当の周知徹底を

福祉課長 障害者福祉や介護保険窓口など通じ周知図る



井芹 しま子 議員

問 国の制度の中でも特別障害者手当（月2万7300円の支給）は非常に支給漏れの多い一つといわれている。この制度では、要介護4・5の高齢者でも該当するケースもあり、又、障害者手帳所持も条件ではないと国会で答弁があっている。また、在宅が条件になっているが、グループホームやサービス付き高齢者住宅などは在宅扱いになるなど、町のホームページの周知内容は不十分であり、介護施設やケアマネなど関係機関の周知内容の共有とホームページの周知の見直しを求める。

宮崎福祉課長
今後、障害者福祉や介護保険の窓口等を通じて周知を図っていききたい。また、手当を受けられることによって町民の方々の経済的負担の軽減につ

ながるように、国の規定をもとに、わかりやすいホームページの掲載も考えていきたい。

带状疱疹ワクチン接種への補助を

問 带状疱疹ワクチン接種への補助が広がっている。带状疱疹は、コロナ禍でのストレスで急増していると言われている。とりわけ高齢者にとつては辛く、体に与えるダメージも大きい。発疹が治っても2割の方が痛みが続く带状疱疹神経痛に苦しんでおられるという、この発症を高い確率で予防し、後遺症を残さない唯一の方法と言われるワクチンへの補助を検討すべきではないか。

上古閑健康推進課長

厚生労働省では法定接種と対応すべきか検討状態にある。ワクチン補助の導入については国の動向を見ている。

コロナ感染・全数把握見直しによる自宅待機者への支援を

問 国は医療機関や保健所の負担軽減を根拠にコロナ感染者の全数把握の見直しを打ち出した。

見直しが実施されると、自

宅療養者については、保健所からの連絡もなくなり、放り出されることになる。町の支援が必要になるのではないか。これまでも自宅療養者への支援を求めたが個人情報で出来ないという答弁であったが、全国には多くの支援事例もある。感染者の願いに寄り添う支援を検討すべきでは。

奥名町長

県は自宅療養者のフォローアップ体制を構築するとしており、その中で健康観察を担当する療養支援センターの人員を増やして容態の悪化に患者がスムーズに受診できるようにするとしている。県が対応するのが筋と考える。

気候変動に向けた脱炭素の取り組みについて

問 異常な豪雨、干ばつ、猛暑、森林火災、海面上昇等世界や日本で起きている地球温暖化による気候変動の影響は深刻になっている。イギリスでは7月には40.3度を記録し、熱波の為に840人が死亡し、ポルトガルでは高温が原因で1000人が亡くなったと報道している。人類が安心して地球で暮らせる状況ではなくなりつつある。この温暖化を

食い止める為、CO2削減に取り組むことは世界でも地域でも待ったなしの課題となっている。脱炭素に向けた町の取り組みは。

白石環境衛生課長

熊本中核都市圏19市町村の中で地球温暖化対策に向けた計画を検討しており、有効な対策に向け十分な検討を行っていききたい。

省エネ、再エネに対する支援制度を

白石環境衛生課長

今後、省エネ、再エネに対する支援は必要になると考える。国、県、近隣自治体の動向を見ながら検討を行いたい。



こちらから全質問を視聴いただけます。

高齢化や担い手不足による 森林管理は

農政課長 森林環境税を積極的に活用していく



森田 精子 議員

問 森林環境税とは。

井上農政課長

森林を効果的に整備するため、全国の地方財源を確保するため、全国民で負担していただくよう創設されたもの。

問 検討、計画、現状は。

井上農政課長

譲与税が始まった令和元年から令和3年まで意向調査を実施し、自己管理ができる方は県の補助事業による間伐を推進し、できないと回答された方に対し町と委託契約を締結し、町が森林環境譲与税を活用し間伐を実施していくこととしている。

ただし、全ての森林に対し町が間伐などの管理を行うことは不可能で、緊急性、重要性を勘案し優先度の高い森林

から実施する。

問 防災対策上からの森林管理の進め方は。

井上農政課長

森林が荒廃すれば水源涵養機能が失われ、土砂災害の発生危険度が上がる。土砂災害を未然に防止するために、個人所有の私有林については森林環境譲与税を活用し間伐を進めていきたい。

特に、土砂災害危険区域の属する森林について、優先順位を上げ実施する計画としている。



被災した作業道（船津地区）

問 熊本地震で被災した作業道の復旧は。

井上農政課長

町で開設した作業道7路線いずれも開設後5年以上経過しているため町管理ではない。現在7本中4本が通行不能の状態である。地元からの要望により、緊急性や重要性を考慮し、一部町が支援した経緯がある。森林譲与税の活用についても、土砂災害を未然に防ぐ観点から、間伐などに必要な作業道の復旧などについては積極的に活用していきたいと考えており、本年度も被災した2路線の復旧整備を予定している。

安津橋健康広場周辺整備について

問 各種大会時の星の川団地周辺の交通網安全対策は。

後藤社会教育課長

通行車両を分散できるように、下流側の鋭角出口側に熊本方面、美里町方面という誘導看板を設置するなど、緑川下流への進行を促す策を検討していきたいと考えている。

志戸岡建設課長

熊本甲佐総合運動公園が完成し、周辺の町道を利用されることが多くなることが予測

問 町民が望んでいる公園整備の考えは。

奥名町長

町が進める住宅政策、定住政策の方に影響が出てくるとしたら、少し考えなくてはならないと思う。ただ、総合運動公園の整備が全て済んでおらず、関係機関との協議や、財源の裏付けなど、きちんと精査した上でないと判断できないかと思う。



こちらから全質問を視聴いただけます。

一般質問

県道三本松甲佐線のバイパス化は

建設課長 熊本県に2つ目の橋梁を要望



鳴瀬 美善 議員

問 県道三本松甲佐線の改修進捗の状況は。

志戸岡建設課長

美里町は整備率47%で伸び率5.2%、甲佐町は上揚住宅付近から下流へ約330メートルの用地交渉を行い、契約後には工事に着手予定。両町においての整備に差はない。

問 採石場地先から上揚集落までの未改良区間は道路も狭く、特に夜間の離合は危険性があると感じるが、街路灯整備の計画は。

永井くらし安全推進室長

質問の箇所は、道路幅が狭く歩道が整備されていないため防犯灯の設置は非常に困難とされる。

今後、当該道路の改修工事等が決めれば建設課や県と調整

し設置に前向きに取り組みたい。

問 町道上揚井戸江線（井戸江橋）を利用した県道三本松甲佐線のバイパス化の考えは。

志戸岡建設課長

現道の県道は非常に急峻な地形で拡幅には困難なものがある。町道上揚井戸江線に2つ目の橋梁の架設を熊本県に要望を行っている。



(左) 町道小鹿線、(右) 県道三本松甲佐線

町道小鹿線の改良計画について

問 県道三本松甲佐線の改修と併せた改良計画の考えについて、現道の小鹿線は、地形的にも急峻であり、別ルートでの改修を検討されてはどうか。

志戸岡建設課長

現道の拡幅工事は難しいと考えている。色んな計画ルートを模索したが、町道上揚井戸江線の計画ルートが小鹿集落への新たなルートになると考える。

緑川環境と鮎について

問 緑川の濁りの長期化に対する、国（緑川ダム）、県（船津ダム）に対する要望状況とその回答は。

白石環境衛生課長

緑川濁水対策連絡会等を通じて、河川環境の改善について要望を行い、国、県の対応としては、選択取水による濁水対策、堆積土砂の浚渫や放流による河川環境の改善を続けてきているとのこと。

問 カワ鵜対策として、鵜の追い払いを実施されているが、効果の検証と、今後の継続の考えは。

井上農政課長

ロケット花火による追い払いを4月から鮎解禁日までシルバー人材センターに委託し実施。

また、緑川漁協が実施され

ている駆除事業の効果として、昨年は594羽、今年も7月末で約250羽を捕獲。追い払い事業については来年度以降も継続して行く。

問 今年も鮎解禁日から多くの釣り客が緑川を訪れられているが、その要因は何か。

私見として、緑川漁協による稚アユの放流を始め、町、あるいは、地域の方々による緑川の清掃活動やEM菌による水質浄化の取り組みなどが今回の結果に結びついたのではと考えるが、町としての見解は。

井上農政課長

町による追い払い活動と緑川漁協による駆除活動の継続。また、今年も稚鮎の放流後に大雨等の自然的災害がなかったことなど。

そして、町だけではなく地域住民の方々も含めた継続した取り組みが一番の効果に繋がったものと考えている。



こちらから全質問を視聴いただけます。

第11回 子ども議会

令和4年8月1日、甲佐中学生、甲佐高校生による子ども議会が開催され、中学生7人、高校生6人が登壇し町執行部に対して質問を行いました。
学校から提供していただいた写真及び議会を終え生徒たちがまとめた質問、町執行部からの答弁、感想を掲載します。

質問

町を活性化させるために、あゆまつりの他にどのようなイベントがありますか。

町執行部からの答弁

11月に産業文化祭、12月に熊本甲佐10マイル公認ロードレース大会、3月に緑川スポーツフェスタがあり、甲佐町商工会主催では、10月に甲佐蚤の市、3月に初市のイベントがあります。さまざまなイベントにより、約7万人の来場者で賑わいをみせております。

議会を終えた感想

町のイベントはあゆまつりの他に、10マイル公認ロードレースや緑川スポーツフェスタなど予想より多くのイベントがあることが衝撃でした。町が取り組んでいることや今後の予定、課題などを知り、町の政治の場の雰囲気をしつかりと感じることができ、良い経験となりました。



甲佐中学校
井芹あかりさん

質問

自然を守るために取り組んでいることはありますか。

町執行部からの答弁

河川環境を守るため、生活排水を浄化させる取組を行っています。また、ごみの不法投棄が河川を汚染するので、パトロールを行っています。毎年4月29日「緑川の日」に緑川沿いのごみ拾い、分別を行っています。今後も続けていきますので、中学生の皆様も積極的に参加していただきたいと思えます。

議会を終えた感想

ごみの不法投棄を防ぐために、パトロールや回収を行っていることが分かりました。子ども議会を通して、町が予定している取組や、現在の状況などを知ることができました。



甲佐中学校
北 珠里さん

質問

誰でも簡単に利用できる施設を作っていたりしますか。現在ある施設を利用するために必要なことを教えてください。

町執行部からの答弁

「熊本甲佐町総合公園」の上流側には張芝の多目的広場、中甲橋グリーンプーク、龍野川河川自然公園などがあるので、その時々にあった場所を利用していただければと思います。また、陣ノ内城跡などたくさんの史跡がありますので、町を散策するのはいかがでしょうか。

議会を終えた感想

町には、新しい施設や公園を新しく作らなくとも、楽しむことができるところがあるということを知って、もっと自分で探していくべきだと思いました。これからは、町の魅力を自分たちで発信していけたらいいなと思いました。



甲佐中学校
高田稟太朗さん



甲佐中学校
原田豊秀さん

質問

現在街灯がない通学路に街灯の設置予定はありますか。
また、田んぼ・用水路が横にある歩道にガードレールの設置することは可能でしょうか。

町執行部からの答弁

令和7年度まで通学路等の防犯灯を増やしていくことにしています。
用水路転落防止ガードレールの設置の件につきましては、定期的な点検のほか、緊急性があるような危険箇所については、現地を確認し速やかな対応を行うようにしております。

議会を終えた感想

毎年、たくさんの方の街灯などが設置され、これからもたくさんの方の街灯が設置されることを知り、これから安心して、通学ができるようになるので、とてもありがたいと思いました。



甲佐中学校
石原 葵さん

質問

町の歴史や魅力を知るにはどのような方法があるのでしょうか。

町執行部からの答弁

町の歴史を記載した「新甲佐町史」と、史跡や郷土芸能について記載された「甲佐町の文化財 第二集」があります。

また町ホームページには、町の歴史について記事を載せています。町の図書室には、歴史コーナーも設けていますので、図書室に来ていただければと思います。

議会を終えた感想

町の歴史について知る方法に図書館の歴史コーナーがあると知れて良かったです。今度実際に図書館で本を借りてみようと思いました。
また、議会に参加させていただいて、改めて甲佐町について考えるきっかけになったと思います。



甲佐中学校
森野虹輝さん

質問

社会体育になるとき、活動できる種目は甲佐中部活動にあるすべてがそのまま残りますか。

また、社会体育になったときに文化部はどうなりますか。

町執行部からの答弁

国の部活動改革の方針を受けて、今後休日の部活動は段階的に地域に移行していくこととなりますが、その方法や時期など詳しい内容については、文部科学省や熊本県教育委員会からの情報発信がなされておらず、現在はその情報を待っている状況です。したがって、現在のところ詳しいことは分かっておりません。

議会を終えた感想

部活動は、先生たちの働き方改革で、社会体育に変わることがわかりました。そして、段階的に、社会体育に近づいていくということもわかりました。今日の質問で、町がよりよくなればいいと思います。



甲佐中学校
本田結羽さん

質問

もっと「ニラ侍」を知ってもらうためのPR方法があれば教えてください。

町執行部からの答弁

「ニラ侍」のPR方法ですが、商工会が著作権を持っておられますので、商工会に使用申請を行うこととなります。商工会に確認したところ、中学生が使用されてPRしていただくことはありがたいということでしたので、中学校のイベントでPRできる機会がありましたら、お願いしたいと思います。

議会を終えた感想

現在使われている甲佐町のキャラクター「ニラ侍」は、子どもこしの時に、小学生が考えてできたキャラクターだということを初めて知りました。PR方法のために、ニラの商品に使われていることがわかりました。「ニラ侍」をPRしていきたいと思いました。



甲佐高等学校
吉坂和夏さん

質問

空き家バンク制度の利用者、援助、人口増加の成果とは。

町執行部からの答弁

甲佐町に住みたいと思う町外の方が多く利用されている。援助としては、内装・外装・建設の工事費や家財道具、荷物等の搬出費、運搬費、処分費がある。

令和3年度の利用者は13世帯62名で、人口増加につながっている。

議会を終えた感想

今回参加させていただき、甲佐町をもっと楽しみたいと思いました。町のカフェを巡ってマップを作ったり、プラスチックごみで何かを作ったりしたいと考えました。



甲佐高等学校
坂田はなさん

質問

津志田河川自然公園の環境問題への取組とは。

町執行部からの答弁

公園の利用者には、ウェブサイトにてマナー等の注意事項を示している。

環境を維持するためとして、ボランティアによる清掃活動や除草作業を行ったことでマナーも向上している。利用料を徴収するとなると管理精度を高めていく必要があるため、料金については協議中である。

議会を終えた感想

議会に参加するのは初めてだったので、リハーサル時からとても緊張しましたが、質問するにあたっての下調べ、執行部の方の答弁を聞いて町のことを知ることができ、良い機会となりました。

この、貴重な経験を今後の学校生活にも生かしていきたいと考えています。



甲佐高等学校
渡邊友菜さん

質問

子育て世帯の減少や支援などの施策について。

町執行部からの答弁

現在、町では、今年度から子ども医療費助成の対象を拡大、その他に「甲佐町こどもゆめプラン」を作成し、その家庭に応じた多様な支援をしている。それに加え、「子育て支援住宅」設置、「定住促進助成金」に未就学児加算などの支援もしている。

今後より子育てがしやすい町になるよう努めていきたい。

議会を終えた感想

今回、議会に参加させて頂いて様々なことを学びました。このような貴重な経験をバネに、甲佐高校生としてより多く町に貢献できればと思うと同時に、個人としても飛躍的に成長できればと考えました。



甲佐高等学校
安達琉衣さん

質問

甲佐町「ふるさと応援寄附金」の寄付金額及び具体的な活用方法とは。

町執行部からの答弁

平成27年度までは、年間100万円前後だったが、令和3年度には、約5億1900万円と多くの寄付をいただいている。

活用の具体例としては、学校ICT機器整備として児童生徒の一人ひとりに向けたiPadや電子黒板などの整備、公共交通機関への運行補助などを行っている。

議会を終えた感想

リハーサルの時も緊張をしましたが、本番は人がたくさんいらっしやっただけで頭が真っ白になりました。途中止まってしまいました。しっかりと練習したので最後まで言うことができました。



甲佐高等学校
中川優衣さん

質問

ごみのポイ捨てを減少させるには、どのような対策を取るべきか。

町執行部からの答弁

ごみのポイ捨てを減らすために、町としては不法投棄のパトロールでごみの回収や啓発活動を行っている。また、立て看板を設置するなど注喚起も行っている。しかしこれだけでは全くなくなるというわけではない。ごみを捨てる方に対して直接響くようなメッセージが必要である。

議会を終えた感想

とても緊張しました。文章を覚えてたくさんの人がいる前で発表するということをあまりしなかったのがなかったので、良い経験になりました。ごみのポイ捨ての対策も知ることができて良かったです。



甲佐高等学校
須藤日乃華さん

質問

子どもたちの遊び場をどう確保するのか。また、町の財源をどのように活用しているか。

町執行部からの答弁

現在、新たに公園を作る計画はなく、今ある恵まれた自然を生かした魅力ある公園を利活用していこうと考えている。

また、町内6か所の住宅団地、防災公園もある。河川敷にも4か所程度公園がある。

町の歳出額は全体で89億円であり、そのうち教育費が11億円、土木費が10億円となっている。

議会を終えた感想

この議会に参加して、町の課題やその対策について真剣に考える機会となりました。議会の雰囲気は緊張感があり、とても良い経験となりました。

議会災害対策会議を設置

台風第14号が9月18日夜遅くから19日明け方にかけて熊本県に接近または上陸するおそれがあったことから、9月18日午前9時に議会災害対策会議を設置し、対策会議を開催。

19日には甚大な被害発生が無かったことから午前10時をもって解除。

この議会災害対策会議は、令和4年3月に策定した災害時など非常時において、甲佐町災害対策本部と連携し、被害の拡大防止及び議会機能の早期回復を図るため、必要となる組織体制や議員行動基準などを定めた、「甲佐町議会業務継続計画」に基づき設置したものの。



第1次参集者による会議の様子

町民の声

乙女河原を活用した
まちづくりを

田原区 井本 大祐

ここ数年は空前のアウトドアブームで乙女河原では年間約5万人のキャンパーで賑わっています。しかも県内だけではなく県外からの人も多く訪れております。

甲佐町は町の中央に緑川が流れており、町では複数のキャンプができる所があります。その中でも乙女河原は無料で、市内からも近い場所です。

この立地を活かし新たな甲佐町の収益モデルを作っていたらいいと思っております。少しでも料金を取り、最近では、水難事故なども起きているので、管理施設などにおいて、監視体制も整うといいと考えます。

毎年のイベントなどをすると、収益、賑わいなどこれからの甲佐町の顔となると思います。

緑川周辺には、緑川リバーサイドパークなどもあり、スポーツ、アウトドアが出来る町として、ますますの発展を願っております。



甲佐町

議会だより

議員行政視察研修報告

御船町に建設予定のごみ処理施設に係る視察研修を実施

9月21日に、大栄環境株式会社が運営する三重リサイクルセンターにおいて視察研修を実施してきた。

同社は、御船町の上野地区に整備が予定されている廃棄物処理施設の整備主体である。

施設は当初、自治体直営の計画であったが、大栄環境(大阪府)と石坂グループ(熊本市)が整備する産業廃棄物を含めたりサイクル、焼却・発電施設に上益城5町が委託する方式に変更された。

本年3月に上益城5町との間でエネルギー回収施設等整備に関する環境アセスメント実施等に向けた基本協定書が締結されており、現在はこの協定に基づき環境アセスメント調査が実施されている。

研修では、各議員から施設の運営方針や環境方針など、様々な視点から活発に質疑が行われ、今後の施設整備に向けた有意義な研修となった。



町民の皆様の議会傍聴をお待ちしています。お気軽にお越しください。

※令和4年第4回(12月)定例会は、12月9日開会の予定です。

編集後記

新型コロナウイルス第七波の感染状況は、若干落ち着きは見せているものの、下げ止まりが続いています。

そのような中、先日、商店街一帯で商工会主催の「甲佐蚤の市」が盛大に開催されました。多くの観光客で賑わいを見せ、活気に満ち溢れた一日となりました。

本町は、若い世代の定住促進を進めています。定住地として選んでいただくためには、まずは甲佐町を知っていただくことが大事です。

ウイズ・コロナで今後各種イベントが活発に再開され、交流人口が拡大していくことを望みます。

(甲斐高士)

議会広報編集特別委員会

- | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| 委員 長 | 委員 長 |
| 甲斐 高士 | 宮本 修治 | 佐野 安春 | 森田 精子 | 鳴瀬 美善 | 田中 孝義 | 甲斐 良二 | |

この議会だより「清流」は再生紙を使用しています。

第183号 2022年11月15日発行